

10月の学校生活の様子

5年 研究授業（10月2日）

5年生は、国語科の単元『よりよい学校生活のために』の学習の一環として、校内授業を行いました。この授業は、乾隆幼稚園との合科的な連携授業として位置づけられており、幼小のつながりを意識した取り組みです。授業では、乾隆小学校の紹介ビデオを視聴した乾隆幼稚園の年長組の園児たちが、ビデオ通話機能を活用して5年生に質問をしてくれました。5年生は、年長組さんからの質問にしっかりと答えられるよう、グループで話し合いを重ね、「来年度、新1年生として入学してくる子どもたちが、少しでも不安を減らし、学校生活に期待をもってもらうにはどうすればよいか」を真剣に考えていました。その姿からは、「自分たちは来年度、最高学年として学校を支えていく存在になるんだ」という自覚が芽生え始めていることが感じられました。年長組の園児たちにとっても、こうしたやりとりを通して、小学校への不安が和らぎ、入学への期待が高まったことと思います。



6年 小中交流合唱交歓会（10月6日）

10月6日（月）、嘉楽中学校にて「小中交流合唱交歓会」が開催されました。この行事は、小学校と中学校の児童・生徒が音楽を通して交流を深める貴重な機会であり、今年度も多くの感動が生まれました。小学校からは、乾隆小学校と紫野小学校の6年生が参加し、合同で合唱を披露しました。両校の児童たちは、それぞれの学校で練習を重ねた後、9月26日（金）に初めて顔を合わせ、合同練習を行いました。その際の様子は、すでに学校ホームページでも紹介させていただいた通り、大変和やかで、練習後には笑顔あふれる様子がとても良かったです。歌を通して自然と一体感が生まれていく様子がとても印象的でした。そして迎えた本番。2回目にして本番でしたが、子どもたちは前回以上に心をひとつにし、堂々とした姿で合唱を披露しました。緊張感の中にも、仲間とともに歌う喜びや達成感が感じられ、会場全体が温かい空気に包まれました。合唱交歓会が終わり、嘉楽中学校を後にする際、乾隆小学校の正門前で紫野小学校の児童たちを見送る場面がありました。その時、「また会おうなー！」とお互いに声を掛け合う姿が見られ、子どもたちの間に芽生えた友情やつながりの深さを感じることができました。このような交流を通して、子どもたちは音楽だけでなく、人との関わり大切さや思いやりの心も育てているのだと実感しました。また、紫野小学校の吉岡校長先生からは、乾隆小学校の児童が正門前で紫野小の児童を待ち、心を込めて見送りをしてくれたことに対して、感謝の言葉をいただきました。こうした心温まるやりとりが、学校間の絆をより一層深めてくれたように思います。



運動会（10月18日）

10月18日（土）、本校の運動場にて「運動会」を開催しました。これまで子どもたちは、日々の練習に一生懸命取り組み、競技や演技の一つひとつに真剣な姿勢で臨んできました。当日はあいにく雨が降る場面もありましたが、プログラムの進行を一部早めるなどの工夫をしながら、無事にすべての種目を実施することができました。今年度の運動会も、赤組・白組ともに全力で競技に取り組み、応援にも熱が入り、最後まで勝敗の行方がわからない白熱した展開となりました。子どもたちは、これまでの練習の成果を存分に発揮し、のびのびと、そして力いっぱい体を動かしていました。また、たてわり班で行う種目「玉入れ」では、練習の時から学年を越えた協力が見られ、上級生が下級生を気遣いながら声をかける姿が印象的でした。こうした異学年交流を通して、子どもたちの中に自然と助け合いや思いやりの心が育まれていることを感じました。さらに、5・6年生は係活動でも大活躍でした。準備や進行、得点にアナウンスなど、さまざまな場面で責任をもって行動し、運動会全体を支えてくれました。自分の役割を理解し、仲間と協力しながら動く姿はとても頼もしく、最高学年としての自覚と成長が感じられました。どの学年の子どもたちも、堂々とした姿で競技や演技を披露し、運動会を通して心身ともに大きく成長したことがよくわかりました。緊張しながらも一生懸命に取り組む姿、仲間を応援する声、勝敗に一喜一憂する表情など、どの場面にも子どもたちの輝きがあふれていました。

また、当日は多くの保護者や地域の皆さまにご来校いただき、温かいご声援を送っていただきました。子どもたちにとって、その応援が大きな励みとなり、より一層の力を発揮することができたように思います。さらに、運動会終了後の片付けにもご協力いただき、スムーズに後片付けを終えることができました。心より感謝申し上げます。

今後も、こうした行事を通して、子どもたちが仲間とともに学び合い、成長していけるような教育活動を大切にしていきたいと思います。

